



# 日下ヶ塚古墳 (常陸鏡塚) ひたち かがみづか

【ひさげづかこふん】イメージ

## HISAGEZUKA KOFUN



後円部は戦時中の農地利用で形が変わっている

墳頂中央からこの古墳に葬られた人物を埋めた粘土槨が見つかる

磯浜海防陣屋や明治時代の道をつくるために削られている



『磯浜古墳群』の詳細は、報告書等をご覧ください

### 日下ヶ塚古墳データ

墳長：約 101.4m

高さ：10.1m

周濠を含む総長：

約 128.2m

前方後円墳

築造時期：

古墳時代前期末葉

この形はヤマト王権との結びつきを物語る



全長 約207m

日下ヶ塚古墳の約2倍の大きさ

日下ヶ塚古墳の墳形は、  
佐紀陵山古墳 (奈良県) に似ている

### 日下ヶ塚 (常陸鏡塚) 古墳の発掘



大場磐雄博士 (写真提供：國學院大學博物館)

日下ヶ塚古墳の発掘は、1949 (昭和 24) 年 8 月、國學院大學の大場磐雄博士によって行われました。粘土槨からは石製製造品や槨、鉄製品や勾玉、白玉、ガラス玉、内行花文鏡、変形四獣鏡など 4000 点をこす副葬品が発見されました。調査の内容は「常陸鏡塚」として刊行されています。出土品は國學院大學博物館と大洗町などで保管されています。

※「常陸鏡塚」は大場博士が命名した名前です。



日下ヶ塚古墳の埴輪

長壺形埴輪 この他に円筒埴輪や球形胴壺形埴輪もあります。